

登録No. S-086  
 登録名 Abraxane/Gemcitabine療法  
 催吐性リスク 中等度  
 適応疾患 膵癌  
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	グラニセトロンバック デキサメタゾン	100mL/body 9.9mg/body		d1・d8・d15	d.i.v.	30min	
Rp.2	生食	100mL/body		d1・d8・d15	d.i.v.	30min	nab-パクリタキセル前後フラッシュ・ゲムシタビン後フラッシュ用 nab-パクリタキセル点滴前50mLを30分で点滴 nab-パクリタキセル・ゲムシタビン点滴後に残50mLを 25mLずつ全開で点滴
Rp.3	nab-パクリタキセル 生食	125mg/m <sup>2</sup> 50mL/body		d1・d8・d15	d.i.v.	30min	インフィルタ-使用禁 粘調度高いため、輸液総量の1.5倍量をDrip-eyelに設定
Rp.4	ゲムシタビン 5%ブドウ糖液	1000mg/m <sup>2</sup> 100mL/body		d1・d8・d15	d.i.v.	30min	60分以上かけてd.i.v.すると副作用増強のおそれあり

1クルールの期間 4週間  
 その他（副作用・PS規定等）

副作用: 骨髄抑制、末梢神経障害、脱毛、悪心、嘔吐、倦怠感、発疹、味覚障害、筋肉・関節痛、AST/ALT上昇  
 投与・減量基準: 【各サイクル d1】 Neutr:1500以上、Plt:10万以上  
 【各サイクルのd8】 ①Neutr>1000かつPlt≥7.5万→投与量の変更なし  
 ②500≤Neutr≤1000又は5万≤Plt≤7.5万→1段階減量  
 ③Neutr<500又はPlt<5万→休薬  
 【各サイクルのd15】 Neutr>1000かつPlt≥7.5万 d8の結果が①→投与量変更なし  
 ②→第一日目の量に増量  
 ③→1段階減量  
 500≤Neutr≤1000又は5万≤Plt≤7.5万 d8の結果が①→投与量変更なし  
 ②→d8と同量を投与  
 ③→1段階減量  
 Neutr<500又はPlt<5万 →休薬

減量:

	nab-PAC	GEM
通常量	125mg/m <sup>2</sup>	1000mg/m <sup>2</sup>
1段階減量	100mg/m <sup>2</sup>	800mg/m <sup>2</sup>
2段階減量	75mg/m <sup>2</sup>	600mg/m <sup>2</sup>